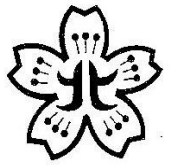


学校  
だより

# やま桜

学校教育目標 自分よさが輝き、自立する子ども

平成29年9月19日  
南足柄市立北足柄小学校  
第13号  
校長 木村 元彦



## 《学校の秋》を感じる日々

朝8時25分、校長室にいと2階からふりそそぐように歌声が聞こえてきます。10月13日に行われる市小学校音楽会へ向けて練習が始まりました。多くの小学校では、4年生が参加していますが、本校は少人数のため2年生から5年生まで26人が参加します。そのため午後になるとさまざまな教室から歌声だけでなく合奏で使う鍵盤ハーモニカの音も聞こえてきます。6年生は、早朝から市小学校体育大会の練習が運動場で始まりました。《学校の秋》を感じる季節になりました。

### 第46回 南足柄市 vs 小山町 領地争奪綱引き合戦 足柄峠笛まつり

南小とともに北小5年生が参戦 無念!勝利ならず

10日(日)に第46回足柄峠笛祭りが足柄峠を会場に開催されました。午後からは恒例の内山剣舞踊り保存会の皆さんが出演されていました。

今年の足柄峠の領地を相模国南足柄領にするか駿河国小山領にするか「領地争奪綱引き合戦」は、北小と南小が南足柄市を代表して参加し、小山町代表の小山町立須走



がんばったけれど・・・ 担任と参加した5年生3名

小学校の児童と対戦しました。これまで3勝5敗の南足柄市、「直近2年間は、南足柄市が勝利しているからがんばろう!」と市長さんや教育長さんからエールを頂きました。北小からは、5年生3人が参加しました。到着後豚汁をいただき、各チームごとのエール交換などセレモニーが終わり、双方議長さんや議員さんから多数駆けつけて気合充分の中、20人ずつの児童で綱引きが始まりました。結果は男子が多く体格に勝る小山町が2回勝利して通算成績は、南足柄市の3勝6敗となりました。しかし、子どもたちにとって南小と北小で力を合わせてチャレンジしたことはとても貴重な経験になったことと思います。この雪辱は、来年の笛まつりで福沢小に引き継がれます。

## 全校百人一首

13日ふれあいタイムを利用して、全校で百人一首大会が行われました。百人一首と聞くとお

正月に家族で遊ぶときにすることと思う方もいるかもしれませんが。でもそのときにはじめても覚えられません。そのためにも全校で取り組んでいくのがこの時期なのです。百人一首をすることで、暗記する力、歴史を学ぶ力、ルールを覚えて周りの子と協力して遊ぶ力、国語の力などが身につきます。この日は、3つの会場に分かれて行いました。この大会のためにがんばって1年生でも百人一首のいくつかの句を正確に覚えている子がいたのには驚きました。

### 全校で百人一首に 真剣に取り組むようす



# 学校へ行こうDay IIを開催しました

学校運営連携協議会も同時開催

## 4年生総合的な学習の時間

### 保護者参観の中《点字》の学習のようす



14日(木)に今年度2回目の学校公開を行いました。今回は勤務日の多様化という観点から平日の開催としました。多くの保護者の方々、祖父母の皆さんや地域の方々にお越しいただきありがとうございました。夏休みの作品を注意深く熱心に観ている姿がありました。児童も一人ひとりがよく発言する北小らしさがらしさが見られました。本校では、運動会なども含めてほぼ2ヶ月ごとに学校に来ていただく機会を設けています。学校や教室環境や授業の進め方、児童の様子など参観していただきお気づきのところがありましたらアンケートにご記入いただくか教頭までご連絡をください。よ

りよい学校にするためにご家庭との連携を深めていきます。

19時から第2回学校運営協議会を開催しました。校長より4月からの学校の取り組みについて説明をした後、7月に行った学校評価(中間評価)の結果分析について教頭から報告をしました。委員の皆さんからは、4月からの学校の取り組みについては評価していただきご承認を頂きました。その中で、全国学力学習状況調査結果から北小の児童を取り巻く学力向上の要因や日々の給食時間の指導の在り方、家庭での過ごし方も含めて読書の習慣化をするための取り組みなど多岐にわたりご意見を頂きました。予定時間を30分以上超過してご討議いただきありがとうございました。



学校運営連携協議会

10月10日から2学期が始まります。この結果や本日のご意見を今年度後半の教育活動ならびに学校運営に活かしていきますのでご支援をよろしくお願いいたします。

## 授業風景 から

## 3年生 英語活動

### 「What is this ?」



### 英語でヒントを出して 食べ物をあてるゲーム

13日(水)に校内授業研究会を行いました。今年度初めて英語活動を3年生で担任の本多先生が授業公開しました。本多先生は、今年度県教委の小学校外国語活動指導中核教員研修を受けています。本日は、その研修の成果の一端を他の先生方へ伝達することも含めて、研究授業を行いました。教師が全て英語で話して授業を進めていました。子どもたちもそれを理解して、全ての子が前に出て友達に問題を出していました。たとえ少し間違えてもまわりの子が支えて教えてあげる北小のよさを見取ることができました。アルファベットのAからZまで英語で食べ物を言うことをリズムに乗って楽しく言ったあとにWhat is this?でその食べ物の特徴のヒントを出して他の子が当てると言うゲームをしました。来年度から、平成32年度学習指導要領改訂に向けて、5・6年生英語科、3・

4年生外国語活動の移行措置期間に入ります。

これから北小らしい少人数のよさを活かした英語教育・外国語活動の在り方を検討していきます。